



森林保険通信

高さ **3m超** から写真を撮ろう

『上から目線くん』 《使い方編》

- ☑ 被害地全体が見えれば、被害状況や損害率がわかり易いのに…
- ☑ もう少し高い位置から写真が撮れたら、全体が見えるのに…
- ☑ わざわざドローンを飛ばすわけにもいかないし…

…と思ったことはありませんか？

できるだけ高い位置から簡単に、現場への荷物も最小限に、お金もなるべくかけないで…と、当センター佐藤事業専門員が考えました。

現場での高所撮影のためのアイテムとして、森林保険の業務講習会等では高額な長尺自撮り棒を使っていました。

もっと安く・手軽に、現場での高所撮影を可能にする『上から目線くん』は、ホームセンター等で買える水道管のパイプや、身の回りにあるもので作れるデジタルカメラアタッチメントです。

おすすめポイント

- ★ 1つ約50円で作れる
- ★ かさばらないので、現場にも持って行きやすい
- ★ 空き缶（脚部）を曲げてカメラの角度を調節できる
- ★ 頑丈な測量ポールを使うので、手振れしにくい



◎ まずは使い方から…

① パイプのクッションシートがある方をポールに差し込む



② カメラ下部の三脚ネジ穴にネジを回して差し込む



③ カメラをセルフタイマーモードにし、撮影間隔・枚数を設定する。
(連続撮影にしておきましょう！)

④ カメラの脚部分の板の折り曲げ角度を調節する



普通に撮るとこんな感じ…



このくらいかな？



- ⑤ ポールを2mに伸ばす
- ⑥ カメラのシャッターボタンを押してから、ポールをまっすぐ上げる
- ⑦ 撮りながら少しずつポールを回すと、標準地全体を連続撮影できます



デジカメの連写速度を把握しておくといいよ！

全体がよく見えるよ！



作り方は9号をご覧ください